

【 秋 特集】

秋は『スポーツの秋』・『芸術の秋』・『食欲の秋』そして『読書の秋』と言いますね。

秋の夜長、ゆっくりと本に浸ってみては？

「走れ！T校バスケット部」 松崎 洋 著 幻冬舎

中学時代、バスケ部キャプテンとして関東大会2位の実績を残した陽一は、強豪高校に特待生として入学。だが、部内で激しいイジメに遭い自主退学する。失意のまま転校した都立高で個性的なクラスメイトと出会い、弱小バスケ部を背負って立つことに…。

連戦連敗の雑草集団が最強チームとなって

活躍する、痛快青春小説☆



「第二音楽室」 佐藤多佳子 著 文藝春秋

あれはなんだっただろうね？

ヘンな夢でも見てみたい…



たった一つだけ屋上にある教室、第二音楽室。

鼓笛隊試験のおちこぼれ、ピアノ隊の6人はみんなと離れ、第二音楽室の自主練習がきまりだった。

小さなあふれ者たちが過ごした『イカれた最高のパーティー』

あの場所で飲んだカフェオレは、特別の味がした。



「あん」 ドリアン助川 著 幻冬舎

線路沿いから一本路地を抜けたところにある小さなどら焼き店。

千太郎が日がな一日鉄板に向かう店先に、バイトの求人を見てやってきたのは70歳を過ぎた手の不自由な女性・徳江だった。徳江のつくる『あん』のおいしさに驚き、彼女を雇うと店は繁盛し始めるのだが…

偏見の中に人生を閉じ込められた徳江、生きる気力を失いかけていた千太郎。ふたりはそれぞれに新しい人生に向かって歩き始める。

「舟を編む」 三浦しおん 著 光文社

『辞書は言葉の海を渡る舟。海を渡るにふさわしい舟を編む…』

出版社の営業部員・馬締光也は、言葉への鋭いセンスを買われ、辞書編集部に引き抜かれた。新しい辞書『大渡海』の完成に向け、彼と編集部の面々の長い長い旅が始まる。定年間近のベテラン編集者。日本語研究に人生を捧げる老学者。辞書作りに情熱を持ち始める同僚たち。そして、馬締がついに会った運命の女性！

読み終わると、つい辞書を開きたくなるかも…!?

